

ワークシート（臨床試験開始時用）

研究用紙 No. _____

試験番号：_____

研究員 No. _____

研究員名 _____

記入欄		確認
診察日	年 月 日	<input type="checkbox"/>
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
年齢	歳	<input type="checkbox"/>
ケアギバーの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
同意取得の有無	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> ケアギバー（ケアギバー有の場合のみ✓）	<input type="checkbox"/>
現疾患に関する記載		
DSM-IV 分類	統合失調症（295）	<input type="checkbox"/>
初発年齢	___才	
入院歴	___回 入院歴のある場合、退院してから___年・月	<input type="checkbox"/>
BPRS 得点	次ページに続く表に各項目の素点を記入ください。	<input type="checkbox"/>
既往歴	<input type="checkbox"/> 統合失調症以外の精神疾患ではない。 <input type="checkbox"/> アルコール・薬物依存症ではない。 <input type="checkbox"/> てんかんではない。 <input type="checkbox"/> がんではない。 <input type="checkbox"/> 頭部外傷および脳梗塞・脳血管障害の既往がない <input type="checkbox"/> その他の身体疾患：_____	<input type="checkbox"/>
合併症の有無	有り：_____ 医師の総合判断：試験参加は <input type="checkbox"/> 適当、 <input type="checkbox"/> 不適當	<input type="checkbox"/>
第3群（通常診療群）被験者に該当した場合のみ記載		
訪問看護の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合、月に平均___回程度	<input type="checkbox"/>

※第3群（通常診療群）被験者を選ぶ際の注意点

群間比較で生じるバイアスを回避するため、強力な再発・再入院予防効果を有する ACT 等の濃厚な医療を受けている統合失調症者は、第3群（含む第1、2群）にエントリーせぬようお願いします。第3群（通常診療群）被験者の訪問看護頻度は、第1、2群のそれとほぼ同様であることが望まれます。

臨床試験開始時

試験番号: _____ 施行日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

BPRS 症状評価と点数

	1. ごく軽度	2. 軽度	3. 中等度	4. やや高度	5. 高度	6. 非常に高度	0. なし	素点
# 1 心氣的訴え	身体の健康状態について直接問われた時のみ軽度の訴え	自発的な軽度の訴え。身体の状態についての過度の懸念	身体の状態への没頭（心氣的態度）。身体症状が主訴であり、面接の最初にてくる話題である。	身体症状に集中。絶えず、援助を求め。例えば、がん恐怖、梅毒恐怖など	心気妄想があり、通常奇異な訴えと顕著な不安を呈する。それ以外のことを忘れるほど心気妄想に没頭。	持続性の心気妄想で、（恐怖や絶望といった）感情面の負担があり、今にも死ぬのではないかと、重い障害になるのではないかとという予期を示す。		
# 2 不安	質問されたときのみ。軽度かつごくまれな不快感や懸念。	軽度で一過性のイライラ、緊張、些細な事柄への過度な懸念。もしくは特定の状況に関連した軽度の不安。	たいていの間出現するイライラ感、緊張、不安感、動揺、もしくは特定の状況に関連した急性の不安発作。	たいていの間出現する「おびえ」「こわさ」もしくは頻回の急性の不安発作。	それ以外の心的事柄を忘れるほどに、喪失、見離され、障害を予期するため、持続的恐怖感やおびえ	恐慌状態		
# 3 感情的引きこもり	冷たい、打ちとけない	興味を示さない。飽きやすい。自発性がない。	短い返答。形式的。声が平板。表情の変化が少ない。	いくつかの質問に答えるのみ。視線を合わせることを避ける。感情的反応が欠如もしくは不適切。	緘黙もしくは言語による返答が不適切。しかし表情やジェスチャーにいくらかの反応を認める	全く反応を欠く。		
# 4 思考解体	主観的なもののみ。または多少の不明瞭、注意散漫、迂遠。	1と同様、しかし面接中明らかに出現。	多少の無関係、連合弛緩、言語新作、途絶、筋道を失う。返答内容が理解困難。	3と同様だが、意思の疎通が困難。	会話の中でごく限られた断片のみ理解可能。	会話が理解不能。言葉のサラダ、支離滅裂。		

# 5 罪業感	質問された ときのみ。 加工の行為 について多 少の後悔。 内容の発展 はなし。	過去の行為 についての 後悔。些細 なことにつ いての自責 傾向。	良心の呵責 と自責的思 い巡らし。	うまくいか ないこと全 てについて の自己卑下 と自己非難 を示す広範 囲にわたる 罪業感。	罪業妄想。 罪責妄想。	5の程度が非常 に高度		
# 6 緊張○	過度に注意 深い。多少 緊張した姿 勢。時々紅 潮。時々不 必要な小 さな動き。	過度に注意 深い。多少 緊張した姿 勢。時々紅 潮。時々不 必要な小 さな動き。	多少の不 安、自律神 経症状。頻 回の不必要 な動き。落 ち着きのな さ。緊張し た姿勢。	不安の自律 神経症状。 振戦。落ち 着きなく姿 勢を変えた り立ち上が ったりす る。もみ手、 歩き回り。	運動機能の 激越。歩き 回り、頭を 叩きつけ、 筋と一濡巢 があがって いるための 緊張で動か ないなどの 症状。多少 の接触は可 能。	5と同じ。 しかしコント ロール不可 能。接触不 可能。		
# 7 奇異的な 行動や姿 勢○	多少の風変 りな姿勢。 時々小 さな不必要 で反復性の 運動（手を 覗き込む、 頭を掻くな ど）	1と同じ	頻回の常同 的運動。 時々粗大 な常同運動 （体を揺り 動かす、敬 礼する、魔 術的な動き 、奇異な 姿勢）。しか め眉。	たいていの 間、粗大で 常同的また は奇異な姿 勢やしかめ 眉。	持続的な常 同運動、し かめ眉、奇 異な姿勢。 やめさせる ことはでき る。	絶え間ない常 同的な不自然な運 動および態度 で、コントロ ール不可 能。		
# 8 誇大性○	自己評価の 誇張。	優越感、重 要性、才 能・能力が あると感じ る。特別 扱いされる ことを望む	まれな才 能、特別の 責任、重要 な役割、偉 大な業績を 確信する。	力量、超自 然的能力、 使命につい ての妄想的 確信。	誇大妄想 （偉大な指 導者・予言 者など）が ほとんどの 行動を支配 している。	強度の誇大妄想 と全能感に全く 没頭。		
# 9 抑うつ気 分	一過性の悲 哀感。外見 上抑うつ の徴候なし	気力喪失の 訴え。意気 消沈。くよ くよ。悲哀。	外見上憂う つ。無力感。	抑うつ的身 体的徴候。 （通常いく らかの制止 または激越	抑うつ的身 体的兆候を 示す広範囲 で重篤な抑 うつ。抑う	抑うつ性昏迷も しくは激越。 華々しい抑うつ 性妄想。自己破 壊行為		

				を示す)。絶望感、希望喪失、抑うつ的内容が前景。希死念慮。	つ性妄想。自殺や死への没頭		
--	--	--	--	-------------------------------	---------------	--	--

# 1 0 敵意○	他人への過度な非難	嫌悪、あら探し、憤り、焦燥	顕著な焦燥。敵対的態度。告発、侮辱、言語的脅迫を呈する怒りの爆発。	頻回の言語的攻撃性、時々の身体的攻撃性。	全般性の言語的攻撃性、頻回の身体的攻撃性、破壊的行為を呈する持続性の緊張した敵対的態度。	無差別の持続性の言語的身体的攻撃性（怒鳴り声での侮蔑や脅迫。家具を壊す。近づく人を殴るなど）	
# 1 1 疑惑○	自意識。他人への信頼の欠如。	漠然とした関係念慮。自分のことを笑っている、些細なことでも反対されているなどと人を疑う傾向。	被害的態度。被害関係念慮。しかしその内容は漠然としていて、体系化されていないか残遺的である。	活発で情動を伴う被害妄想。いくらかの体系化。妄想気分	華々しく活発、体系化した被害関係妄想。強力な妄想気分	圧倒的な妄想気分。全てを包括する華々しい体系化した被害関係妄想	
# 1 2 幻覚○	ごく軽度。患者の報告する体験の質が幻覚と言えるか疑わしい。入眠幻覚。	軽度。孤立した断片的幻覚体験（光、自分の名前が呼ばれる）。	中等度。言語感覚もしくは完全に発展した他の感覚の幻覚で、明らかに存在するが出現頻度の稀なもの。行動に影響しない。いくらかの洞察。	やや高度。頻回の患者がそれに反応する。洞察なし。	高度。持続性で強度の幻覚。患者の行動を決定する。	非常に高度。強大な幻覚。幻覚状態（急性せん妄や急性幻覚症の時のような）。患者は、幻覚体験に完全に没頭。接触不可能。	
# 1 3 運動減退 ●	主観的のみ。自発性欠如。会話や運動におけるわずかな躊躇	1と同様でかつ会話の間がある。返答は遅れてかつ短い。文章は	運動の減退。会話に自発性がない。声が低い。返答は遅れ短く不完全	表情変化がまったくない。運動は遅く躊躇しがちで完成しない。会	亜昏迷		

		完成している		話は単語のみ。発語はささやき声 自発語なし				
#14 非協力性 。	会話と行動が過度に形式的	ある質問には答えない。面接に対してのいらだちを示す返答	ある質問には反対する返答は短いか回避的。面接に対し明らかに示す。面接を最後まで遂行することが困難	面接者に対して表立った敵対的態度。面接室を出ようとす。面接を最後まで遂行することが不可能	診察を受けたり、面接室に入るのを拒否する返答は不適切か緘黙、または口汚い。面接は不可能だが	面接不可能 面接室に入った り、そこにいる ことを拒否す る。質問や命令 に従わない。ま たは持続的に攻 撃的		

#15 思考内容の異常。	優格観念 通常ではみられない信念。まれな強迫観念	優格観念 風変わりな理論 強迫観念	患者にとって重大な意味を持つ奇怪な理論や確信	奇怪な理論への没頭、または妄想が他の活動を制限し思考内容の前景に立つ	奇怪な理論や妄想が思考内容および行動の大部分を決定する	全てを包括する 奇怪な理論や圧倒的な妄想が行動と思考内容の全てを決定する		
#16 感情鈍麻 不適切な情動●	感情反応に自発性を欠く	感情反応に乏しく硬い時に文脈からはずれた表現	無欲的 情動平板化 家族、友人、環境、自分の将来について少しの興味も示さない。妄想のある場合は、まだ情動変化を伴う。不適切に歯をむき出して笑う	無欲と引きこもり 自分の置かれている状況に無関心 妄想や幻覚に情動的色づけを欠く 不適切な情動	顕著な無欲と引きこもり。興味の欠如。情動表出が欠如、または不適切。 身なりや行動に注意を払わない	完全な無欲と引きこもりに加え、 自己に関する基本的な事柄にも注意を払わない 情動は仮に表出されたとしても非常に不適切		
#17 高揚気分。	健康感の増大	幸福で力の充実した感じ。過度に楽天的。多弁。目的ある活動が増	調子が高い。興奮している。いつも幸福だ、自分は強いなどと	歓喜と怒りが交互に現れる。会話は大声で早い。音韻による連合	持続的にしゃべり、怒り、歌う。 観念奔逸 意味のある会話は限ら	5がさらに著しい 意味のある接触は不可能		

		加	感じる。落ち着かないイライラ。言語促迫 転導性亢進 多動、目的のある活動が障害される	(ことわざ・駄洒落の多用) 行動は多動で混乱している	れている常に動いている		
#18 精神運動 興奮○	多弁	多弁で多動	会話が大声で早口 落ち着きなし。運動も早い。目的のある活動が障害	会話がとぎれない。 頻回な叫び声 徘徊や踊りを踊る 活動が混乱	連続した混乱した会話 (言葉のサラダ、叫んで脅迫、卑わいな内容、断片的な言葉) 破壊的な運動興奮	持続的で制御不可能な混乱した運動興奮および言語興奮で極度の疲労に至るもの 緊張病性興奮、せん妄、急性躁病などに認める	

※○印が陽性症状尺度、●印が陰性症状尺度

(別紙12)

被験者登録名簿 (取り扱い注意)

試験番号	年 齢	性 別	氏 名	群

試験番号: _____ 氏名 _____ 年齢()歳
 _____年__月__日 担当医 _____

BPRS 症状評価と点数

	1. ごく軽度	2. 軽度	3. 中等度	4. やや高度	5. 高度	6. 非常に高度	0. 素 点
#1 心気的訴 え	身体の健康状態について直接問われた時のみ軽度の訴え	自発的な軽度の訴え。身体の健康状態についての過度の懸念	身体の健康状態への没頭(心気的態度)。身体症状が主訴であり、面接の最初にてでくる話題である。	身体症状に集中。絶え間なく訴え、援助を求める。例えば、がん恐怖、梅毒恐怖など	心気妄想があり、通常奇異な訴えと顕著な不安を呈する。それ以外のことを忘れるほど心気妄想に没頭。	持続性の心気妄想で、(恐怖や絶望といった)感情面の負担があり、今にも死ぬのではないかとか、重い障害になるのではないかという予期を示す。	
#2 不安	質問されたときのみ。軽度かつごくまれな不快感や懸念。	軽度で一過性のイライラ、緊張、些細な事柄への過度な懸念。もしくは特定の状況に関連した軽度の不安。	たいていの間出現するイライラ感、緊張、不安感、動揺、もしくは特定の状況に関連した急性の不安発作。	たいていの間出現する「おびえ」「こわさ」もしくは頻回の急性の不安発作。	それ以外の心的事柄を忘れるほどに、喪失、見離され、障害を予期するため、持続的恐怖感やおびえ	恐慌状態	
#3 感情的引きこもり ●	冷たい、打ちとけない	興味を示さない。飽きやすい。自発性がない。	短い返答。形式的。声が平板。表情の変化が少ない。	いくつかの質問に答えるのみ。視線を合わせる	緘黙もしくはは言語による返答が不適切。しかし	全く反応を欠く。	

				ことを避け表情やジェスチャーにいくらかの反応を認める。		
#40 思考解体	主観的なもののみ。または多少の不明瞭、注意散漫、迂遠。	1と同様、しかし面接中に明らかに出現。	多少の無関係、連合弛緩、言語新作、途絶、筋道を失う。返答内容が理解困難。	3と同様だが、意思の疎通が困難。	会話の中でごく限られた断片のみ理解可能。	会話が理解不能。言葉のサラダ、支離滅裂。

# 5 罪業感	質問された ときのみ。加 工の行為に ついて多少 の後悔。内容 の発展はな し。	過去の行為 についての 後悔。些細な ことについ ての自責傾 向。	良心の呵責 と自責的思 い巡らし。	うまくいか ないこと全 てについて の自己卑下 と自己非難 を示す広範 囲にわたる 罪業感。	罪業妄想。罪 責妄想。	5の程度が 非常に高度		
# 6 緊張○	過度に注意 深い。多少緊 張した姿勢。 時々紅潮。 時々不必要 な小さな動 き。	過度に注意 深い。多少緊 張した姿勢。 時々紅潮。 時々不必要 な小さな動 き。	多少の不安、 自律神経症 状。頻回の不 必要な動き。 落ち着きの なさ。緊張し た姿勢。	不安の自律 神経症状。振 戦。落ち着き なく姿勢を 変えたり立 ち上がった りする。もみ 手、歩き回 り。	運動機能の 激越。歩き回 り、頭を叩き つけ、筋と一 濡巢があが っているた めの緊張で 動かないな どの症状。多 少の接触は 可能。	5と同じ。 しかしコン トロール不 可能。接触不 可能。		
# 7 術奇的な 行動や姿 勢○	多少の風変 わりな姿勢。 時々小さな 不必要で反 復性の運動 (手を覗き 込む、頭を搔 くなど)	1と同じ	頻回の常同 的運動。時々 の粗大な常 同運動(体を 揺り動かす、 敬礼する、魔 術的な動き、 奇異な姿 勢)。しかめ 眉。	たいていの 間、粗大で常 同的または 奇異な姿勢 やしにかめ眉。	持続的な常 同運動、しか め眉、奇異な 姿勢。やめさ せることはで きる。	絶え間ない 常同的な不 自然な運動 および態度 で、コントロ ール不可能。		
# 8 誇大性○	自己評価の 誇張。	優越感、重要 性、才能・能 力があると 感じる。 自慢。特別扱	まれな才能、 特別の責任、 重要な役割、 偉大な業績 を確信する。	力量、超自然 的能力、使命 についての 妄想的確信。	誇大妄想(偉 大な指導 者・予言者な ど)がほとん どの行動を	強度の誇大 妄想と全能 感に全く没 頭。		

		いされることを望む			支配している。			
#9 抑うつ気分	一過性の悲哀感。外見上抑うつの徴候なし	気力喪失の訴え。意気消沈。くよくよ。悲哀。	外見上憂うつ。無力感。	抑うつの身体的徴候。(通常いくらかの制止または激越を示す)。絶望感、希望喪失、抑うつ的内容が前景。希死念慮。	抑うつの身体的兆候を示す広範囲で重篤な抑うつ。抑うつ性妄想。自殺や死への没頭	抑うつ性昏迷もしくは激越。華々しい抑うつ性妄想。自己破壊行為		

#10 敵意○	他人への過度な非難	嫌悪、あらゆる、憤り、焦燥	顕著な焦燥。敵対的態度。告発、侮辱、言語的脅迫を呈する怒りの爆発。	頻回の言語的攻撃性、時々の身体的攻撃性。	全般性の言語的攻撃性、頻回の身体的攻撃性、破壊的行為を呈する持続性の緊張した敵対的態度。	無差別の持続性の言語的身体的攻撃性（怒鳴り声での侮蔑や脅迫。家具を壊す。近づく人を殴るなど）		
#11 疑惑○	自意識。他人への信頼の欠如。	漠然とした関係念慮。自分のことを笑っている、些細なことで反対されているなどと人を疑う傾向。	被害的態度。被害関係念慮。しかしその内容は漠然としていて、体系化されていないか残遺的である。	活発で情動を伴う被害妄想。いくらかの体系化。妄想気分	華々しく活発、体系化した被害関係妄想。強力な妄想気分	圧倒的な妄想気分。全てを包括する華々しい体系化した被害関係妄想		
#12 幻覚○	ごく軽度。患者の報告する体験の質が幻覚と言えるか疑わしい。入眠幻覚。	軽度。孤立した断片的幻覚体験（光、自分の名前が呼ばれる）。	中等度。言語感覚もしくは完全に発展した他の感覚の幻覚で、明らかに存在するが出現頻度の稀なもの。行動に影響しない。いくらかの洞察。	やや高度。頻回の患者がそれに反応する。洞察なし。	高度。持続性で強度の幻覚。患者の行動を決定する。	非常に高度。強大な幻覚。幻覚状態（急性せん妄や急性幻覚症の時のような）。患者は、幻覚体験に完全に没頭。接触不可能。		
#13 運動減退●	主観的のみ。自発性欠如。会話や運動	1と同様でかつ会話に間がある	運動の減退。会話に自発性がない	表情変化がまったくない。運動は遅	亜昏迷			

	におけるわずかな躊躇	返答は遅れてかつ短い が、文章は完成している	声が低い 返答は遅れ短く不完全	く躊躇しが ちで完成しない。会話は 単語のみ。発語はささや き声 自発語なし				
#14 非協力性 ○	会話と行動が過度に形式的	ある質問には答えたが らない。面接 に対する症 のいらいだち を示す返答	ある質問には反対する 返答は短いか回避的。面 接に対し明らかでない らだちを示す。面接を最後 まで遂行することが困 難	面接者に対して表立っ た敵対的態度。面接室を 出ようとする。面接を最 後まで遂行することが不 可能	診察を受けたり、面接室 に入るのを拒否する 返答は不適切か緘黙、ま たは口汚い。面接は不可 能だが多少の接触はも てる	面接不可能 面接室に入 ったり、そこ にいること を拒否する。 質問や命令 に従わない。 または持続 的に攻撃的		

#15 思考内容 の異常○	優格観念 通常ではみ られない信 念。まれな強 迫観念	優格観念 風変わりな 理論 強迫観念	患者にとつ て重大な意 味を持つ奇 怪な理論や 確信	奇怪な理論 への没頭、ま たは妄想が 他の活動を 制限し思考 内容の前景 に立つ	奇怪な理論 や妄想が思 考内容およ び行動の大 部分を決定 する	全てを包括 する奇怪な 理論や圧倒 的な妄想が 行動と思考 内容の全て を決定する		
#16 感情鈍麻 不適切なく 情動●	感情反応に 自発性を欠 く	感情反応に 乏しく硬い 時に文脈か らはずれた 表現	無欲的 情動平板化 家族、友人、 環境、自分の 将来につい て少しの興 味も示さな い。妄想のあ る場合は、ま だ情動変化 を伴う。不適 切に歯をむ き出して笑 う	無欲と引き こもり 自分の置か れている状 況に無関心 妄想や幻覚 に情動的色 づけを欠く 不適切な情 動	顕著な無欲 と引きこも り。興味の欠 如。情動表出 が欠如、また は不適切。 身なりや行 動に注意を 払わない	完全な無欲 と引きこも りに加え、 自己に關す る基本的な 事柄にも注 意を払わな い情動は仮 に表出され たとしても 非常に不適 切		
#17 高揚気分 ○	健康感の増 大	幸福で力の 充実した感 じ。過度に楽 天的。多弁。 目的ある活 動が増加	調子が高い。 興奮してい る。いつも幸 福だ、自分は強 いなどと感 じる。落ち着 かない イライラ。 言語促迫 転導性亢進 多動、目的の	歓喜と怒り が交互に現 れる。会話は 大声で早い。 音韻による 連合(ことわ り・駄洒落の 多用) 行動は多動 で混乱して いる	持続的にし ゃべり、怒鳴 り、歌う。 観念奔逸 意味のある 会話は限ら れている 常に動いて いる	5がさらに 著しい 意味のある 接触は不可 能		

			ある活動が 障害される					
#18 精神運動 興奮○	多弁	多弁で多動	会話が大声 で早口 落ち着きな し。運動も早 い。目的ある 活動が障害	会話がとぎ れない。 頻回な叫び 声 徘徊や踊り を踊る 活動が混乱	連続した混 乱した会話 (言葉のサ ラダ、叫んで 脅迫、卑わい な内容、断片 的な言葉) 破壊的な運 動興奮	持続的で制 御不可能な 混乱した運 動興奮およ び言語興奮 で極度の疲 労に至るも の 緊張病性興 奮、せん妄、 急性躁病な どに認める		

※○印が陽性症状尺度、●印が陰性症状尺度

全合計点 _____ 陽性症状尺度合計点 _____ 陰性症状尺度合計点 _____

ワークシート (入院または再発用)

試験番号： _____

記入欄	
診察日	年 月 日
入院/外来	<input type="checkbox"/> 入院 (入院： 年 月 日～ 年 月 日) <input type="checkbox"/> 外来 (再発： 年 月 日～ 年 月 日)
入院時/再発時 BPRS 得点	<input type="checkbox"/> 次ページに続く表に各項目の素点をご記入ください。
退院時/寛解時 BPRS 得点	<input type="checkbox"/> 同上

※再発と寛解は試験担当医師の判断にゆだねます。

処置内容、その他

--

入院時／再発時

試験番号: _____ 施行日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

BPRS 症状評価と点数

	1. ごく軽度	2. 軽度	3. 中等度	4. やや高度	5. 高度	6. 非常に高度	0. なし	素点
# 1 心氣的訴え	身体の健康状態について直接問われた時のみ軽度の訴え	自発的な軽度の訴え。身体の健康状態についての過度の懸念	身体の健康状態への没頭（心氣的態度）。身体症状が主訴であり、面接の最初にてくる話題である。	身体症状に集中。絶えず、援助を求める。例えば、がん恐怖、梅毒恐怖など	心気妄想があり、通常奇異な訴えと顕著な不安を呈する。それ以外のことを忘れるほど心気妄想に没頭。	持続性の心気妄想で、（恐怖や絶望といった）感情面の負担があり、今にも死ぬのではないかと、重い障害になるのではないかとという予期を示す。		
# 2 不安	質問されたときのみ。軽度かつごくまれな不快感や懸念。	軽度で一過性のイライラ、緊張、些細な事柄への過度な懸念。もしくは特定の状況に関連した軽度の不安。	たいていの間出現するイライラ感、緊張、不安感、動揺、もしくは特定の状況に関連した急性の不安発作。	たいていの間出現する「おびえ」「こわさ」もしくは頻回の急性の不安発作。	それ以外の心的事柄を忘れるほどに、喪失、見離され、障害を予期するため、持続的恐怖感やおびえ	恐慌状態		
# 3 感情的引きこもり	冷たい、打ちとけない	興味を示さない。飽きやすい。自発性が無い。	短い返答。形式的。声が平板。表情の変化が少ない。	いくつかの質問に答えるのみ。視線を合わせることを避ける。感情的反応が欠如もしくは不適切。	緘黙もしくは言語による返答が不適切。しかし表情やジェスチャーにいくらかの反応を認める	全く反応を欠く。		
# 4 思考解体	主観的なもののみ。または多少の不明瞭、注意散漫、迂遠。	1と同様、しかし面接中明らかに出現。	多少の無関係、連合弛緩、言語新作、途絶、筋道を失う。返答内容が理解困難。	3と同様だが、意思の疎通が困難。	会話の中でごく限られた断片のみ理解可能。	会話が理解不能。言葉のサラダ、支離滅裂。		

# 5 罪業感	質問されたときのみ。加工の行為について多少の後悔。内容の発展はなし。	過去の行為についての後悔。些細なことについての自責傾向。	良心の呵責と自責的思い巡らし。	うまくいかないこと全てについての自己卑下と自己非難を示す広範囲にわたる罪業感。	罪業妄想。罪責妄想。	5の程度が非常に高度		
# 6 緊張○	過度に注意深い。多少緊張した姿勢。時々紅潮。時々不必要な小さな動き。	過度に注意深い。多少緊張した姿勢。時々紅潮。時々不必要な小さな動き。	多少の不安、自律神経症状。頻回の不必要な動き。落ち着きのなさ。緊張した姿勢。	不安の自律神経症状。落ち着きなく姿勢を変えたり立ち上がったたりする。もみ手、歩き回り。	運動機能の激越。歩き回り、頭を叩きつけ、筋と一濡巢があがっているための緊張で動かないなどの症状。多少の接触は可能。	5と同じ。しかしコントロール不可能。接触不可能。		
# 7 衝動的な行動や姿勢○	多少の風変わりな姿勢。時々小さな不必要で反復性の運動（手を覗き込む、頭を搔くなど）	1と同じ	頻回の常同的運動。時々粗大な常同運動（体を揺り動かす、敬礼する、魔術的な動き、奇異な姿勢）。しかめ眉。	たいていの間、粗大で常同的または奇異な姿勢やしかめ眉。	持続的な常同運動、しかめ眉、奇異な姿勢。やめさせることはできる。	絶え間ない常同的な不自然な運動および態度で、コントロール不可能。		
# 8 誇大性○	自己評価の誇張。	優越感、重要性、才能・能力があると感じる。自慢。特別扱いされることを望む	まれな才能、特別の責任、重要な役割、偉大な業績を確信する。	力量、超自然的な能力、使命についての妄想的確信。	誇大妄想（偉大な指導者・予言者など）がほとんどの行動を支配している。	強度の誇大妄想と全能感に全く没頭。		
# 9 抑うつ気分	一過性の悲哀感。外見上抑うつ徴候なし	気力喪失の訴え。意気消沈。くよくよ。悲哀。	外見上憂うつ。無力感。	抑うつ的身体的徴候。（通常いくらかの制止または激越	抑うつ的身体的兆候を示す広範囲で重篤な抑うつ。抑う	抑うつ性昏迷もしくは激越。華々しい抑うつ性妄想。自己破壊行為		

				を示す)。絶望感、希望喪失、抑うつ的内容が前景。希死念慮。	つ性妄想。自殺や死への没頭			
--	--	--	--	-------------------------------	---------------	--	--	--

# 1 0 敵意○	他人への過度な非難	嫌悪、あら探し、憤り、焦燥	顕著な焦燥。敵対的態度。告発、侮辱、言語的脅迫を呈する怒りの爆発。	頻回の言語的攻撃性、時々の身体的攻撃性。	全般性の言語的攻撃性、頻回の身体的攻撃性、破壊的行為を呈する持続性の緊張した敵対的態度。	無差別の持続性の言語的身体的攻撃性（怒鳴り声での侮蔑や脅迫。家具を壊す。近づく人を殴るなど）		
# 1 1 疑惑○	自意識。他人への信頼の欠如。	漠然とした関係念慮。自分のことを笑っている、些細なことでも反対されているなどと人を疑う傾向。	被害的態度。被害関係念慮。しかしその内容は漠然としていて、体系化されていないか残遺的である。	活発で情動を伴う被害妄想。いくらかの体系化。妄想気分	華々しく活発、体系化した被害関係妄想。強力な妄想気分	圧倒的な妄想気分。全てを包括する華々しい体系化した被害関係妄想		
# 1 2 幻覚○	ごく軽度。患者の報告する体験の質が幻覚と言えるか疑わしい。入眠幻覚。	軽度。孤立した断片的幻覚体験（光、自分の名前が呼ばれる）。	中等度。言語感覚もしくは完全に発展した他の感覚の幻覚で、明らかに存在するが出現頻度の稀なもの。行動に影響しない。いくらかの洞察。	やや高度。頻回の患者がそれに反応する。洞察なし。	高度。持続性で強度の幻覚。患者の行動を決定する。	非常に高度。強大な幻覚。幻覚状態（急性せん妄や急性幻覚症の時のような）。患者は、幻覚体験に完全に没頭。接触不可能。		
# 1 3 運動減退 ●	主観的のみ。自発性欠如。会話や運動におけるわずかな躊躇	1と同様でかつ会話に間がある。返答は遅れてかつ短い。文章は	運動の減退。会話に自発性がない。声が低い。返答は遅れて短く不完全	表情変化がまったくない。運動は遅く躊躇しがちで完成しない。会	亜昏迷			